

“ひの若者会議(仮)”通信



ひの若者会議(仮)とは

次世代を担う若者の「やってみたい」の声を聴き、具体的なアイデアと一緒に考え、実現に向けた行動につなげる支援をしたい。

ひの若者会議(仮)はそんな思いを持ったメンバーの集まりです。

私たちは日野に関わる若者を支援して、日野が好きな若者を増やし、日野を盛り上げることをめざして活動しています。

11月21日(土)に交流会を開催します

11月21日(土)の午前中にわたむきホール虹で「子どもや若者に対して、私たちに何ができるのか」を考える交流会を企画しています。

特別な経験や資格は必要ありません。「ちょっと話を聞いてみたい」という方も大歓迎です。日野の子どもや若者について気軽にしゃべりしてみませんか？

また、交流会当日の午後には、同じ会場で「ひのっこ大会」(10ページに掲載)が開かれるので、子どもたちの発表をみんなで聴きに行きましょう。

企画の詳細については、後日、ひの若者会議(仮) インスタグラムなどで発信します。興味のある方はぜひフォローしてください。

メンバーが作成したロゴです↑
皆さんに親近感を持ってもらい、若者の輪に多くの人を呼び込みたいという思いがこもっています。



ひの若者会議(仮)
公式Instagram



町ホームページ

メンバー募集中！

ひの若者会議(仮)では、日野の子どもたちや若者の「こんなことをしてみたい」の声を聞き、実現までを一緒に考え、応援する仲間を随時募集しています。

興味のある方はぜひお問い合わせください。

問 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552

地域おこし協力隊活動記

町では、「地域おこし協力隊」の廣瀬圭さんと西川みさ枝さんの2名が「移住・定住の促進」や「関係人口の創出・拡大」に関する施策の企画・推進に、入江鼓太郎さんが「官民共創による若者の社会参画・就労支援コーディネート」に取り組んでいます。このコーナーでは、地域に根差し、新たな風を吹き込む隊員の活動や思いを紹介します。



こんにちは、日野町地域おこし協力隊の廣瀬です。

先日、移住相談対応の参考とするため、東京と大阪の「ふるさと回帰支援センター」を訪れ、滋賀県や県外の担当者さんと移住相談の動向について情報交換を行いました。相談後にLINEなどで情報が得られる自治体は印象に残りやすいことや、東京と大阪のセンターで相談者の年齢や相談内容、利用目的などが違うことがわかりました。今後、全国規模の移住相談会も見学し、他自治体の魅力的な伝え方やブース作りの工夫を勉強していきます。

また、「火振り祭」では、7月の松明作りから8月14・15日の祭当日まで、参加させていただきました。祭当日は町外や県外からの参加者も多く「また来年も来ます！」という参加者の声は、日野町のファンを増やす大きな可能性だと感じました。この熱量を広げるため、来年はSNS等を活用した魅力発信に加え、祭りや行事をきっかけに深く関わり続けてくれる「関係人口」の創出につなげていきます。

これからも日野町の魅力を町内外に広めていきます。



問 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552

日野町の未来を考える 「総合計画懇話会」がはじまりました！

総合計画ってなに？

総合計画は、日野町のまちづくりの基本となる10か年の計画です。今回は、後半5年間の内容を見直すため、町民を代表してお集まりいただき、意見を出し合う懇話会を開いています。



どんな人が参加しているの？

町内の各種団体からの推薦や公募等により14名が委員として委嘱を受け、3つのグループに分かれて話し合いを進めています。7月27日(月)の第1回では委嘱式と、町の現状についての説明が行われました。



懇話会で出た意見を紹介します

9月6日(日)、23日(水)のワークショップでは、付箋を使って「困っていること」や「こんなアイデアはどうか」を出し合いました。

子育て・教育について

- ・町内に産婦人科がないため、出産のときに町の外へ行かなければならず不安
- ・出産にかかるお金が高く、家庭の負担が大きい
- ・転入してきた家庭が、どこに相談すればよいかわからず孤立しやすい
- ・部活動の地域移行に伴い、部活動の選択肢が減少し、外部クラブへ流出する傾向がある
- ・子どもが通う学校が遠くなることで、送り迎えの負担が増え、保護者の負担となる

仕事・農業・商業について

- ・農業・商業・企業いずれも担い手（後継者）不足が深刻
- ・町内の企業に最先端の技術をもつ会社があるのに、若い人に知られていない
- ・農産物を町内で買える場所（直売所など）が少ない

交通について

- ・バスや公共交通が少なく、車がないと生活しにくい
- ・高齢者が「チョイソコひの」を使いにくい

地域・多文化共生について

- ・外国籍の住民が増えているが、地域との交流が少ない
- ・自治会活動への参加者が減り、地域のつながりが薄くなっている
- ・伝統行事の担い手不足が深刻だが、祭りに女性が参加できるようになるなど前向きな変化もある

情報発信・魅力づくりについて

- ・行政の相談窓口や支援制度が住民に十分に伝わっていない
- ・町の歴史・自然など豊かな魅力を、住民自身があまり気づいていない



あなたの意見も聞かせてください！

懇話会での議論をもとに、11月中旬にパブリックコメント（意見公募手続き）を実施する予定です。「日野町をこんなまちにしたい！」という思いをぜひお寄せください。詳しくは、町ホームページ等でお知らせします。

問 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552